

1. 本誌は名称を「心理・教育・福祉研究 (Japanese Journal of Psychology, Education and Welfare)」とし、心理臨床、教育、及び福祉に関連する研究活動を促すとともに、その成果を普及させることで学術的貢献及び社会的貢献を果たすことを目的とする。
2. 本誌は、九州ルーテル学院大学（以下、本学）にある心理臨床学科（以下、本学科）の機関紙として毎年1号を発行する。ただし、合併号は隔年発行とする。
3. 編集委員会は編集委員である本学科教員によって組織され、本規程に基づいて編集業務を行う。
4. 論文には以下の区分を設ける。
 - (1) 原著：オリジナルな内容の実証的研究論文や事例研究論文、特定の理論を論理的な考察により発展させた論文、先行研究を概観した文献研究論文。
 - (2) 資料：オリジナルな内容の試験的な実証的研究論文、興味深い現象や事例に関する報告、特定の研究領域に基礎的資料を提供する論文。
5. 本誌への論文投稿の資格は原則として、本学教員とする。それ以外の者が投稿する場合は、本学教員が共同研究者でなければならない。その限りにおいては、本学教員以外の者が第1著者であっても差し支えない。
6. 投稿された論文は、編集委員会の審査によってその掲載の可否が決定される。その際、原著においては、編集委員会が選出する学内の研究者1名、及び投稿者自ら推薦する学外の実証的研究者1名、計2名に査読を依頼し、査読者から受け取った審査結果の報告に基づいて掲載の可否を審査する。ただし、資料においてはこの限りではない。
7. 論文の執筆については、執筆規程に定めるとおりである。
8. 論文は、本学の実証的研究倫理規程に従い、以下の項目を遵守しなければならない。なお、編集委員会の要求により、必要書類の提出が求められることもあるため、研究実施の記録を保管しておくことが望ましい。
 - (1) 投稿された論文の研究を実施するにあたり、研究を実施する機関の倫理委員会（もしくは、これに準ずる組織）の承認を得ていることが望ましい。なお、承認を得た場合には、その旨を論文に記載する。
 - (2) 研究倫理に関して、本学の実証的研究倫理規程に掲げるデータ提供者・研究協力者に対する研究行為や配慮について適切な対応がなされたことを報告しなければならない。
 - (3) 投稿された論文の完成に貢献し、その論文内容に責任を負える者全員が連名者となり、それ以外に論文に寄与した者は謝辞や脚注に記す。なお、連名者の記載順序については、論文完成への貢献の程度が反映されており、投稿前に連名者全員の承諾を得なければならない。
9. 本誌に掲載された論文の著作権は著者に帰属される。
10. 掲載された論文に関する問い合わせ先は著者である本学教員（複数名の場合はその代表者）とし、所属とメールアドレスを表題ページに脚注で記す。
11. 本誌に掲載された論文は、九州ルーテル学院大学で作成された学術研究成果として九州ルーテル学院大学学術リポジトリに電子化・保存し、公開する。
12. 本誌に掲載された論文やその論文中の図表・写真等は著者の許諾なく無断で転載することを禁ずる。

執筆規程

1. 投稿原稿はすべてワープロで作成する。用紙の大きさはA4判縦置きとし、1ページは1200字（40字×30行）の横書きとする。プリントアウトした原稿3部とそれを保存したCDなどの電子媒体の両方を提出する。
2. 論文の長さは和文抄録、図表、文献までを含めて1200字×17ページ以内とする。ただし、しかなるべき理由がある場合は、同20ページまで増やすことができる。
3. 原稿1ページから本文とし、別紙添付表に表題、表題の英訳、和文のランニング・ヘッド（著者の姓を含め30字以内）、著者名（ローマ字を書き添える）、所属機関名、責任著者、本誌に掲載する責任著者の連絡先（所属機関、住所、メールアドレス）、編集に関わる連絡に対応する者（これを連絡者とよぶ）、ならびに連絡者の連絡先（住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス）を示す。表題の英訳はネイティブ・スピーカーのチェックを受けること。
4. 文章は新かなづかい、当用漢字、算用数字によって書く。
5. 句読点にはカンマ「,」とマル「。」を用いる。
6. 外国人名・地名等の固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要場合は初出の際だけ原語を付す。
7. 図表は通し番号をつける。和文タイトルの場合は「図1」「表1」のようにし、欧文タイトルの場合は「Figure 1」「Table 1」のように表記する。図表は本文とは別にまとめ、本文中に挿入箇所を明示しておく。
8. 図（写真も含む）の題はその下部に、表の題は上部に書く。説明文はいずれも下部に示す。図表の題、説明文、図表中の文字は英字にしてもよい。
9. 図は、横幅70mm以内、それでは小さすぎる場合は140mm以内とする（文字が十分に識別できる大きさであること）。
10. 本文とは別に、100～175語の英文要約（ABSTRACT）と、3～5つの英語によるキー・ワード（Key Words）、および和文抄録（400～450字）、邦訳のキー・ワードをA4用紙1枚に記載して添える。なお、英文はネイティブ・スピーカーの校閲を経ることを原則とする。
11. 文中における文献の引用方法、及び論文の最後に置かれる引用文献の一括記載方法は、学術雑誌『心理学研究』『特殊教育研究』『社会福祉学』のいずれかの執筆規程あるいは手引きに準じて統一することとする。
12. 計量単位は国際単位系に準拠する。数値と単位の間は半角分空ける（国際単位系の詳しい解説は、例えば日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に掲載されている）。
例 100 ms; 50 kg; 1000Hz
13. カンマ、ピリオド、コロ、またはセミコロンが半角の箇所では、それらと直後の文字との間に半角の空白を入れる。また、「(」と「)」の半角括弧を用いる場合、前者の直前と後者の直後にも半角分の空白を入れる。
14. 脚注に通し番号をつけ、本文中には、それに対応する番号を文章の切れ目の右肩に記す。
15. 投稿先は次のとおりである。
〒860-8520 熊本市中央区黒髪3丁目12-16
九州ルーテル学院大学人文学部心理臨床学科「心理・教育・福祉研究」編集委員会